

「第 12 回しきなみ子供短歌コンクール」表彰式を開催しました — 応募総数 64,133 名。小学生を対象とした全国規模の短歌コンクール —



| [当日の様子やその他の写真はこちら](#) |

一般社団法人倫理研究所（東京都千代田区）は、平成 29 年 3 月 5 日（日）、「第 12 回しきなみ子供短歌コンクール」を開催しました（後援／文部科学省・全国民間ラジオ局 37 社）。会場となったニッショーホール（日本消防会館・東京都港区）には、教育関係者を含む 742 名が来場しました。

本コンクールは日本の伝統文化の継承に貢献することを理念に掲げ、全国の小学生を対象に、平成 18 年より毎年開催。子供ならではの自由で個性豊かな作品が多数発表され、好評を博しています（第 12 回コンクール参加学校数／1,282 校、投稿人数／64,133 名、投稿作品数／64,133 首）。

—表彰式概要—

- 【表彰】「しきなみ子供短歌賞」小・中・高学年の 3 名
- 【表彰】「特選」20 名
- 【特別選考委員講評】
青柳隆志（東京成徳大学教授）・加藤千恵（作家・歌人）・大木千鶴子（倫理研究所生涯局参事）
- 【表彰】「文部科学大臣賞」（「しきなみ子供短歌賞」受賞者 3 名に授与）
佐藤秀雄（文部科学省生涯学習政策局 社会教育課課長補佐）
- 【披講】「星と森披講学習会」
- 【主催者挨拶】丸山敏秋（倫理研究所理事長）

日 時：平成 29 年 3 月 5 日（日）14 時～15 時 45 分

場 所：ニッショーホール（日本消防会館・東京都港区）

主 催：一般社団法人 倫理研究所

後 援：文部科学省、全国民間ラジオ局 37 社

—受賞作品—

「しきなみ子供短歌賞」「文部科学大臣賞」受賞

【低学年の部】東京都渋谷区加計塚小学校 2 年生 紅野那緒

七年も土にもぐってねむってた今年のせみはどうきゅうせいだ

【中学年の部】沖縄県うるま市立高江洲小学校 4 年生 友寄 凌

ぼくたちの思い出つまった旧校舎大雨にぬれ泣いてるようだ

【高学年の部】埼玉県行田市立下忍小学校 5 年生 大山宗一郎

どちらさまぼくにたずねるおばあちゃんこんどはぼくがささえてあげる

【しきなみ子供短歌コンクール】

全国の小学生を対象に開催している短歌コンクール。短歌づくりを通じて子供たちの国語力を培い、情緒豊かな人間性を育成し、情操教育や道徳教育に資する活動として、平成 18 年より継続しています。

開催にあたっては、文部科学省の後援を得て、各都道府県・市町村の教育委員会をはじめ、学校関係者など地域の方々に広く参加を呼びかけています。

【しきなみ短歌会】

昭和 21 年 3 月に丸山敏雄によって創設され、全国で約 6,000 名の会員が学んでいます。月刊誌『しきなみ』には、毎月約 5,500 名の出詠があり、会員以外の方々を対象に広く参加者を募る「初めての短歌教室」を全国各地で開催し、好評を博しています。

* 「しきなみ」の意味

次から次へと、しきりに寄せて来る波のこと。創設者の丸山敏雄は「大海原に隈なくわたる波のように、会の名を『しきなみ』（敷波）と名付けました」と述べています。

—本件に関するお問い合わせ—

一般社団法人 倫理研究所 文化部（甲斐）

〒102-8561 東京都千代田区紀尾井町 4-5 TEL 03-3264-2251（代表）